

不登校を考える学習会の報告書

平成30年 1月12日19時から、小郡市人権教育啓発センター 大集会室で、小郡市教育委員会人権・同和教育課主催で「不登校支援の輪を広げよう」のテーマで会長の木村素也が講演をしてきました。当日は40名ほどの参加者があり、熱心に学習が進められました。最初はC&S音楽学院の稲富翔君のミニコンサート演奏があり、その後講演を行いました。最後に交流会を行い小グループでの意見交換などがありました。21

21時30分ごろ終了し、解散しましたがコンサートなど会の雰囲気は大変和やかで前回来られた方も個別に報告や相談などがありました。詳細は後日感想など報告を乗せさせていただきます。

(注：参考までに平成29年8月29日の山下英三郎さんの第2回の報告書を添付します。)

平成29年度 不登校を考える学習会

学ぼう 語ろう つながろう

一昨年度から、小郡市教育委員会主催の学習会に、小郡の不登校の子どもを持つ保護者の方々も企画から加わってもらっています。どなたでも参加できる学習会です。子どもが、保護者が、ホッとして元気になっていくと良いと思います。いっしょに学習したり、おしゃべりしたりしてください。

**今年度、4回目の「不登校を考える学習会」は、
ミニコンサートと講話・おしゃべり会 です！**

期日 平成30年1月12日(金) 19:00~21:00

○ミニコンサート(19:00~19:30)

C&S音楽学院・学生の稲富翔さんを招いて、ミニコンサートを予定しています。C&S音楽学院には、不登校などで行き場をなくした子どもたちもやってきます。稲富さんも不登校の経験がありますが、C&S音楽学院に通う中で自信を取り戻し、東日本大震災復興支援コンサートに出演するなど活躍中です。今年の3月31日には、1stアルバム『飛翔』を全国リリースしています。ご自身の思いを歌にのせて伝えてまいります。



○講話(19:30~20:30) 木村先生を囲んでのおしゃべり会(20:30~21:00)

講師：木村 素也 さん(不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」会長)

テーマ：不登校支援の輪を広げよう

子どもの数は減っているのに、不登校やひきこもりの子どもは増えている現状があります。講師の木村先生は「学校にどうしても通えないなら、それでいいんだよ。その先のことを考えよう」と寄り添い支援してきました。今回の講話では、大人がどのような視点を持ち、関わっていけばよいのかを話していただきます。また、講話後は、木村先生を囲んで、おしゃべり会を予定しています。お気軽に木村先生にご相談ください。

参加費：無料(参加は事前申し込み不要です。)
※ 託児を希望される方は1月5日(金)までに
下記の人権・同和教育課までご連絡ください。

会場：小郡市人権教育啓発センター 大集会室
小郡郵便局南側 小郡市小郡296

主催(問い合わせ先):小郡市教育委員会 人権・同和教育課
Tel: 0942-72-2111 FAX: 0942-72-2132
E-mail: dokyo@city.ogori.lg.jp



← 今回のパンフ

↓ 今回のレジメ

不登校支援の輪を広げよう

平成30年 1月12日 木村 素也

於 小郡市人権教育啓発センター 大集会室

- はじめに
- 発達障害者支援法とは
 - ・中学校から高校への引き継ぎ
 - ・ふくおか就学サポートノート
 - ・実践例
- 子どもの困り感の構造
 - ・現代の若者の自尊感情の経年変化
 - ・子どもを取り巻く環境
 - ・子ども目線と大人目線の差をどうしたら埋められるのか
 - ・不登校は誰にでも起こる
 - ・不登校って誰の責任？
- 学校って何？学校の役割は？
 - なぜ学校に行くの？ 何のために勉強するの？
- 障がいということ・・・生きて行きにくさ
- おわりに

第2回の報告書

テーマ： ～不登校の子どもの支援にとって大事なこと～

講師： 山下 英三郎 さん（日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長）

平成29（2017）年8月26日

於：小郡市人権教育啓発センター

山下さんからは、はじめに、少子化で子どもの数が減っている一方、不登校の児童・生徒が増えていることが報告されました。そして、「学校には行かないといけない」という大人の一方的な価値観を押し付けるのではなく、子どもたちが抱えている背景を丁寧に見ることや、問題や欠点に焦点をあてるのではなく、潜在的な力に焦点をあて、それらを発揮できるように支援していくことが大切であるという提起がありました。また、**豊かな子どもとは、理解し、尊重し、支えてくれる人々に囲まれて生きる子ども**であり、私たち大人は、子どもたち一人ひとりの人格を尊重し、かけがえのない存在としての「あなた」というまなざしを送りながら、人生を共有していきましょう…とも話されました。

「**子育てに失敗はありません。生きているということに失敗はないんです。生きている限り成功なんです。**」という言葉に、参加者の多くが元気をもらった学習会でした。

後半は、参加者で小グループをつくり、ワークショップを行い、学習したことを交流しました。



【講演中の 山下 英三郎さん】



【28人で学習会を行いました】



ワークショップでは「講演の中で心に残った言葉」を出し合いながら交流しました。

○ 参加者のアンケートより

- ・不登校は問題ではなく、「宝」であって、プラスに考えていくことが大切だということがわかりました。かけがえのない「あなた」を認め、受け入れ、サポートできるような地域の一人になれたらいいなあと思いました。
- ・子どもへの支援は、支援する側も人間性の向上が必要なんだと思いました。行動をよく見て、よく聞き、よく考えて、「不登校になってよかった」と思えるような支援ができるように環境を整える大切さを感じました。「一緒に頑張る!!」大事ですね。